

このコーナーでは、農業のちょっとしたコツを、市の営農指導員からお知らせします。

営農指導員のワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 謙

タマネギのトウ立ち（ネギ坊主）対策！原因と予防

タマネギは4千年以上前から栽培されていたといわれています。ビタミンCを多く含み、消化を助ける働きや、血液をさらさらにする効果があります。カレーやサラダ、ハンバーグなど、食卓には欠かせない野菜です。

しかし、種まきから収穫まで半年以上かかるほか、玉割れやトウ立ちの心配があり、栽培難易度は高いといえます。

「トウ」とは花茎（地下茎や根から直接出て、ほとんど葉をつけず、花をつける茎）のことです。この「トウ」が伸びることをトウ立ち（ネギ坊主）といいます。花に栄養が奪われ、可食部の味が落ちるため、トウ立ちを防ぐ必要があります。トウ立ちの「原因と予防」について説明します。

トウ立ちの原因

タマネギは「緑植物春化型」といい、ある程度の大きさの苗が一定期間低温に遭うことで花芽（発達すれば花になる芽）を付ける野菜です。苗が大きいと冬の寒さに反応して花芽を付け、春の気

温上昇で花茎が伸び「ネギ坊主」が出来てしまいます。トウ立ちの主な原因は次のとおりです。

- 種をまく時期が早過ぎた場合
- 暖冬で生育が進み過ぎた場合
- 追肥の量が少なかった、追肥を施す時期がずれた場合
- タマネギが大きくなる時期に日光が当たらなかつた場合
- 水不足になりタマネギにストレスがかかった場合

トウ立ちを防ぐには

- ▼ 苗の太さは6〜7ミリ程度のものを定植する。
- ▼ 苗を早く植え過ぎない。10月下旬〜11月下旬が植え付け期です。
- ▼ 基肥を与え過ぎない。
- ▼ 冬になる前の追肥をやり過ぎない。（追肥は1月、2月中下旬の2回施用）
- ▼ 春先にストレスを与えないように水分を十分与える。
- ▼ 春先は日光を十分与える。

トウ立ちしてしまった株は

トウ立ちしてしまった株は早めに掘り上げましょう。玉の内部に花茎の芯ができて硬くなっていますが、周りは硬くないため芯を除けば食べられます。

問い合わせ

農業振興課 農業振興係
☎ 0824・73・1131

庄原が好き



紅一座 座長 荒木 真由美さん（写真中央）

このコーナーでは、人と人とのつながりを大切にしながら、自発的なまちづくりに取り組む皆さんをシリーズで紹介します。

することがあります。

舞台上立つことで皆さんが笑顔になり、皆さんの笑い声やうなづく姿で、自分たちもまた元氣と意欲をもらえます。「持ちつ持たれつ」です。いつも皆さんに言っている言葉があります。「楽しく生きなきゃ、そん！そん！」

昨年春には、ユーチューブなどで「比和町に住む光徳光子」という役名で、タオル体操の動画を発信しました。今度は、紅一座のメンバーで朗読劇にチャレンジします。これからも皆さんに楽しい時間を発信していきたいです。

#庄原が好き

比和町でボランティア活動をしている人の交流会で、歌舞伎の演目「白浪五人男」を演じたとき、変身する楽しさを知り、地域で働く若い人を巻き込み、芝居をするようになりました。そこから人の輪が広がり、町内外からも声を掛けてもらえるようになりました。現在は、敬老会や文化祭に参加し、主に時代劇や昔話をアレンジして発表しています。

楽しく生きなきゃ、そん！そん！

顔を白や黒に塗って時代劇を演じていると、地域の皆さんから、若い頃に芝居をした思い出を話してもらったり、着物や小物を提供してもらったり



SNSの投稿募集中
「#庄原が好き」で投稿！



▲投稿を
チェック

問い合わせ

自治定住課定住推進係
☎ 0824・73・1257